

教育研究所の研究もいよいよ後半に突入！ ～日々の努力が実践に～

《研究主題》 子どもたちの未来に向かい、学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造
 (副題) ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの工夫

10月と11月は、5回の所員研究会で研究授業をとおした協議を重ね、課題解決のための手立てが有効かどうか、そして、さらに必要なことは何かを探ります。今回は、その様子をお知らせします。

算数科・数学科班

指導者 川東小学校第6学年1組 教諭 二見 祐樹

単元名 立体の体積 期日 令和4年10月13日



教師が、児童に主体性をもたせるために、今回はジグソー法を用いて学習問題に取り組むことを丁寧に説明しています。



個別最適な学びを確保するために、Jamboardとスライドを活用しながら個人思考を深めています。



グループで児童の協働的な学びの時間を確保し、スライドを使って分担した内容を説明し合っています。

国語科班

指導者 中郷中学校第3学年1組 教諭 茨木 美沙希

単元名 状況の中で(教材:「故郷」) 期日 令和4年10月13日



生徒が作成した人物相関図を使って前時を振り返り、「主人公」と登場人物との関係を押さえています。



登場人物の描写がどのように変化しているかをJamboardの付箋に書き出し、グループ毎に考えを交流しています。



本時の学びが批評文を書く際に役立てられるように、作品の特徴や価値をGoogleスライドでまとめています。

▼▲▼本通信でお気付きのことや研究に関する問合せ等、御遠慮なくお電話ください。 ▲▼▲

都城市教育研究所(市役所南別館3階) 所長 曾原 良平 電話 23-7167(直通)